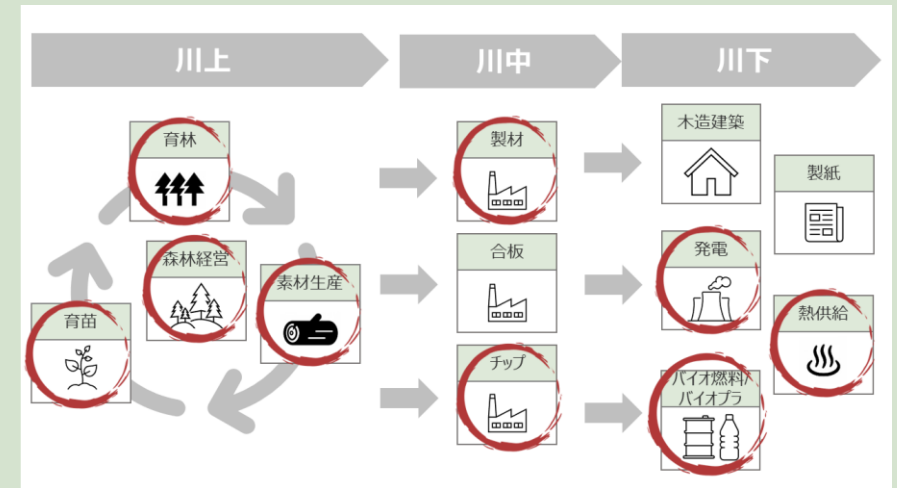


プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：中部電力株式会社

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介

中部電力では、事業活動を通じた地域・社会の課題解決を目指し、2022年に地域インフラ事業推進室を立ち上げ、資源循環・上下水道・森林を重点分野に事業開発を進めています。森林分野では、木材バリューチェーン全体への参画を通じ、小規模・分散的な所有・事業構造や川上・川中・川下での課題を解決することで、持続可能な森林経営の実現を目指します。足元では、(株)サイプレス・スナダヤと共同で北海道釧路市において大規模製材の事業化を決定しました。当社は、新たに生まれる地域原木需要を起点とし、道内林業関係者とも連携し、道内での川上事業への参画を目指します。また、中部圏においても、地域の森林組合等と連携し、森林の集約化に向けた検討を進めています。



プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

国内林業の課題を解決し持続可能な森林経営を実現することは非常にハードルの高い取り組みであり、取り組みの中でさまざまな課題に直面することと予想されます。このため、業界内外のさまざまなプレイヤーとの連携・協働が不可欠と考え、当社は本イニシアティブに、主に以下3点を実現するためのプラットフォームとしての役割を期待しています。

- ① 各社が取り組む“具体案件ベース”での他企業との連携機会の創出
- ② 各社の取り組みの中で生じる技術的課題の共有と解決方法の検討
- ③ 国・都道府県・市町村に求める支援策の整理、政策提言